

コンタクトスポーツ選手の外傷性脳症の病態解明と診断法に関する研究

1. 研究の対象

以下の研究の対象となった方

- ① 多種類の精神疾患のバイオマーカーとディメンジョン同定のための複数の限定された研究機関による脳画像の共同利用システムの構築・維持・管理・運営
- ② 神経画像検査法を用いた中枢性脳卒中後疼痛の客観的指標の探索
- ③ 脊髄損傷後患者における疼痛発症にかかわる中枢神経系の機能的・構造的変化の探索

2. 研究目的・方法

本研究の目的は、コンタクトスポーツ選手の頭部打撃による脳障害の発生メカニズムを解明し、脳障害の鋭敏な検出法（検査法）を開発することです。研究の成果が出れば、スポーツ現場での脳震盪を客観的に診断することや、慢性進行性の脳障害発生のリスクを未然に知ることが期待できます。本研究は脳の画像データ（MRI 等）を用いて行います。

研究期間：研究機関の長の実施許可日～2028 年 3 月 31 日

利用又は提供を開始する予定日：2026 年 2 月

3. 研究に用いる試料・情報の種類

頭部 MRI 画像 等

4. 外部への試料・情報の提供

外部へのデータの提供は、個人情報加工を行ったうえで、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当機関研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

（利用する者の範囲）

研究代表機関：

大阪大学医学部附属病院脳神経外科 貴島 晴彦

共同研究機関：

阪和記念病院 脳神経外科 佐々木 学

牧田総合病院 脊椎脊髄センター 朝本 俊司

大阪大学大学院基礎工学研究科 生体計測学 大城 理

大阪大学大学院基礎工学研究科 生体機械科学 和田 成生

龍谷大学先端理工学部 知能情報メディア課程 池田 聖

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪大学医学部附属病院 脳神経外科

研究責任者：貴島 晴彦

相談窓口 ：佐々木 学

所在地：大阪府吹田市山田丘 2-2

連絡先：06-6879-5640（脳神経外科外来）

研究代表者：

大阪大学医学部附属病院 脳神経外科 貴島晴彦